



## 学んだことは誰にも奪われないから

明るく輝く月が刻一刻と欠けていく様子を授業の終わったばかりの人たちと一緒に、塾の南側ベランダに天体望遠鏡を設置して観察しました。みんなが帰ったあとには天気予報通り月は雲に隠れてしまい、皆既月食を最後まで見届けられなかったのが残念でした。

ところで、夕暮れ時に鬼の親子が焚火を囲んで会話している au のテレビ CM をご存知でしょうか。初めて見た時、オニちゃんが長男の赤鬼に言うセリフ「学んだことは誰にも奪われないから」にグッときました。立場を変えれば、勝手に退治しにきた桃太郎に財宝を奪われた鬼たちの嘆きのつぶやきとも思えます。ネットに押されがちなテレビですが、実は CM も含めてまだまだおもしろいメディアだと感じます。例えば「NHK の朝ドラは実によくできている」という話を聞いたことがあります。配役やストーリーだけでなく、続けて見させる3つの大きな工夫がされているというのです。それは「時間」「テンポ」「期間」のこと。時間の工夫とは、「8時スタート」と「15分」であること。8時といえば朝の支度でバタバタする時間帯です。でも、15分であればうまく調整できる時間、これが30分だと見ることを諦めてしまうかもしれません。次に「テンポ」、15分というと短時間に思いますが、毎回3つぐらいの話がテンポよく展開されます。最後の「期間」というのは、半年という放送期間のこと。長すぎず飽きない期間で半年、これが1年となるとダラダラ感がでてくるでしょう。これを「飽きず、続けて勉強する工夫」に置き換えてみるとどうでしょう。「時間」→決まった時間、短時間で。「テンポ」→より多くの問題をこなしてみる。短時間だからこそ暗記系、計算、復習といった多くこなせる問題を選ぶ。「期間」→飽きない期間を設定。とりあえず見通しが持てる3週間で〇〇をしようとテーマを決めて期間を短く設定するなど。朝に限らずに15分を散りばめることで時間の確保が可能になります。

入試直前の中3にも、中学生になるにあたってちょっと不安な小6にも勉強の工夫はまだまだありそう。まずは15分の工夫から！